

令和5年度
地域福祉に関するアンケート調査結果
【町内会長・自治会長】

令和6年2月

高知市健康福祉部地域共生社会推進課

目 次

1. アンケート調査の概要	1
2. 回答者の概要	1
3. 地域における助け合いの状況	1
4. 地域の支え合い・助け合いの必要性について	2
5. 地域でのつながり	2
6. 集いの場に関すること	3
7. 町内会・自治会における見守りや助け合い	4
8. 行政等の相談窓口の周知度	4
9. 高知市社会福祉協議会について	5
10. 住民の生活の困りごとへの対応	5
11. 相談を受けた具体的な困りごとの内容	6
12. 困ったときに頼る機関等	7
13. 地域福祉の取組への評価	7
14. 自由意見（抜粋）	11
15. アンケート調査票	25

1 アンケート調査の概要

- (1) 調査期間：令和5年11月12日(日)～12月28日(木)
- (2) 調査対象：市内の町内会長・自治会長
一部、事務局長等からの回答もあり
- (3) 調査人数：1,138人
- (4) 調査方法：調査票を自宅等に郵送し、郵送またはWebで回答
- (5) 回答者数：719人/1,138人 (回答率：63.2%(前回：37.1%))

2. 回答者の概要

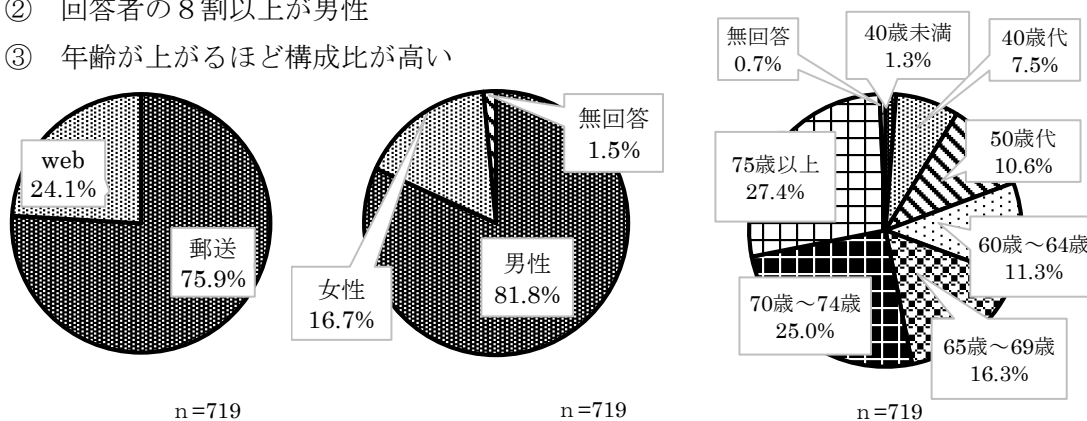
(1) 前回との比較

- ① 全体の回答率は、26.1ポイント増

(2) 回答者719人の構成比

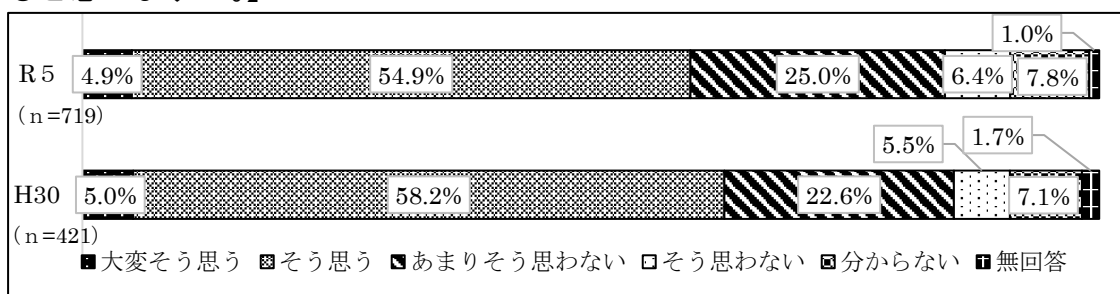
- ① 回答者のうち24.1%がWebで回答
- ② 回答者の8割以上が男性
- ③ 年齢が上がるほど構成比が高い

+



3. 地域における助け合いの状況

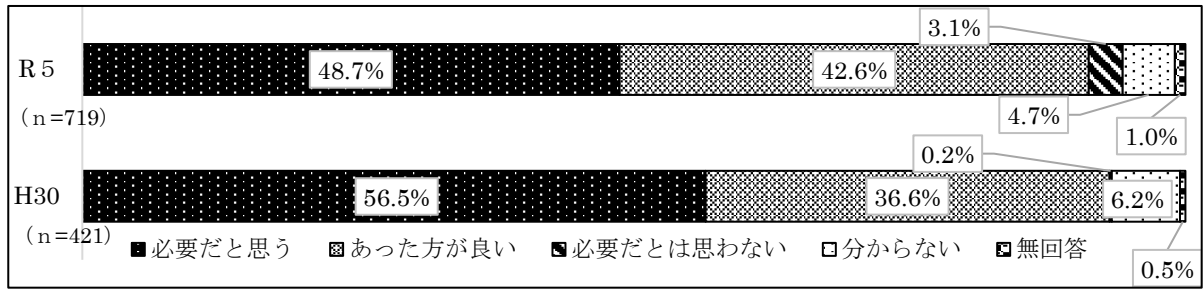
【問5 あなたの住まいの町内会又は自治会の住民は、お互いに助け合いができていますか。】



- ① 「大変そう思う」4.9%、「そう思う」54.9%であり、全体の6割程度が助け合いができていますと答えている (前回より▲3.4%)。

4. 地域の支え合い・助け合いの必要性について

【問6 あなたは「生活の困りごと」に対し、住民が支え合い、助け合う関係が必要だと思いますか。】



- ① 全体の9割以上の方は、「必要だと思う」「あった方がいい」のどちらかと回答している(91.3% (前回 93.1%))。

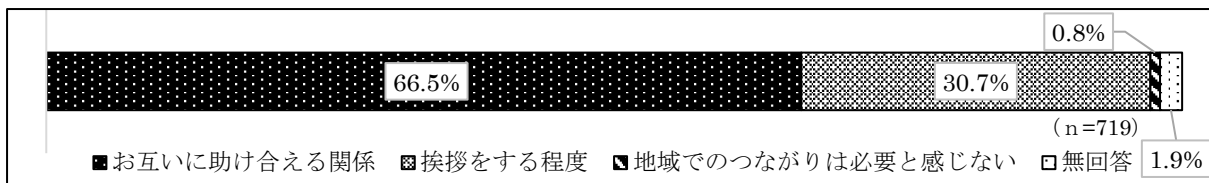
※前回とは質問の聞き方を変更している。

【前回の聞き方】

お住まいの町内会又は自治会で生じているさまざまな福祉分野の生活課題（障害のある人・高齢者の生活，子育て，健康づくりに関する問題など）に対し，地域住民が自主的にお互いに支え合い，助け合う関係が必要だと思いますか。

5. 地域でのつながり

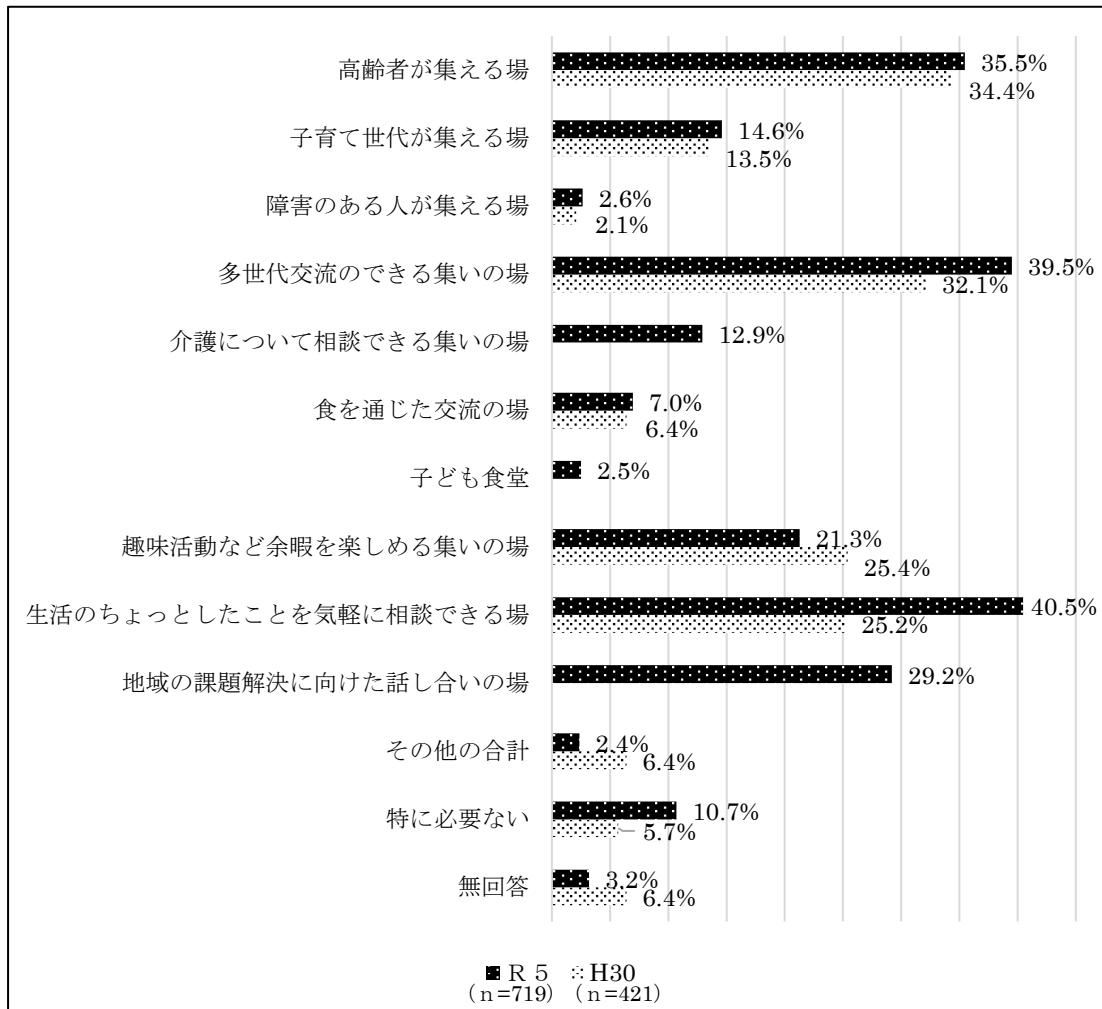
【問7 あなたの考える「地域での望ましいつながりの程度」はどれくらいですか。】



- ① 「お互いに助け合える関係」が66.5%と一番多く、「挨拶をする程度」が望ましいと回答した人の割合が3割程度であった。

6. 集いの場に関すること

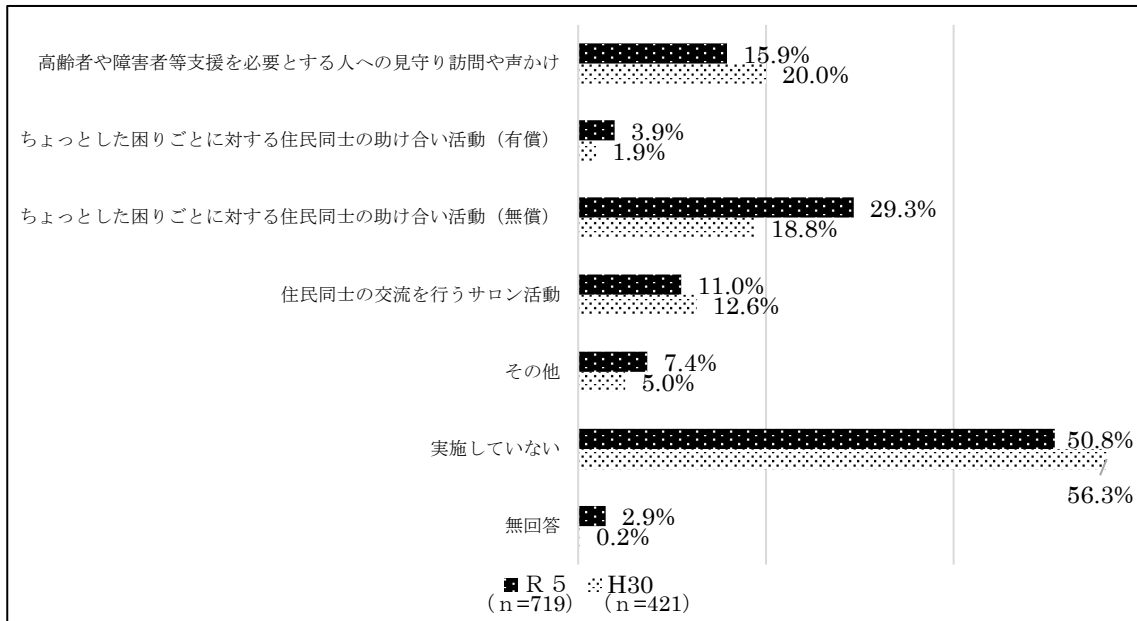
【問8 あなたの住まいの町内会又は自治会にどのような集いの場が特に必要だと思いますか。(複数回答)】



- ① 「生活のちょっとしたことを気軽に相談できる場」と答えた人の割合が、前回より大幅に増加 (+15.3%)。
- ② 「特に必要ない」と答えた人の割合が約2倍増加した (5.7%⇒10.7%)。

7. 町内会・自治会における見守りや助け合い

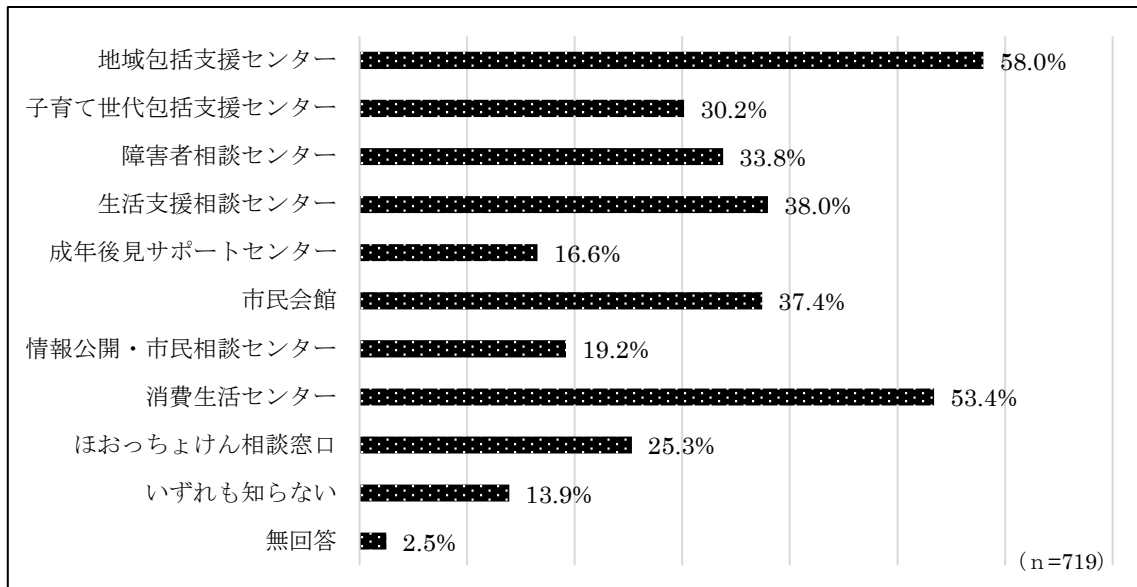
【問9 あなたの住まいの町内会又は自治会では、町内会又は自治会活動として、見守りや助け合い活動を実施していますか。(複数回答)】



- ① 「実施していない」と回答した人の割合が50.8%で一番多く、「ちょっとした困りごとに対する住民同士の助け合い活動(無償)」と答えた人の割合が、前回より10.5ポイント増加。

8. 行政等の相談窓口の周知度

【問10 高知市が設置している生活に関する相談窓口を知っていますか。(複数回答)】

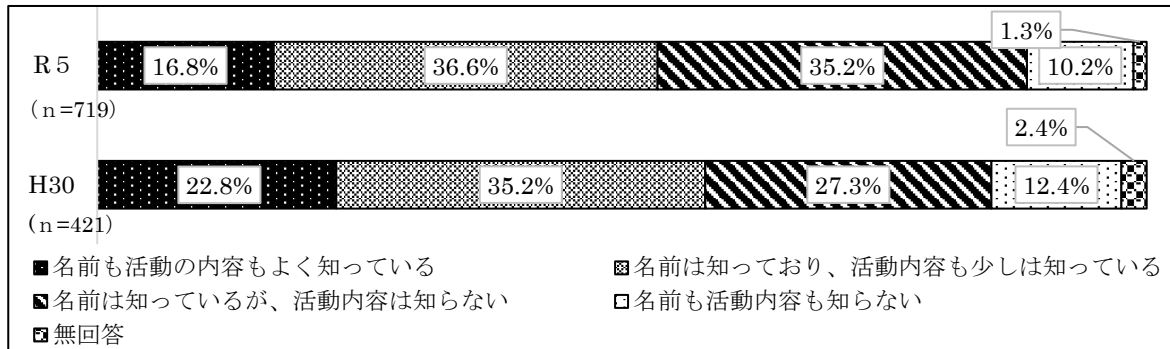


- ① 「地域包括支援センター」と「消費生活センター」は半数以上が知っている。
 ② 「ほおっちょけん相談窓口」の認知度は25.3%

9. 高知市社会福祉協議会について

【問 11 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。】

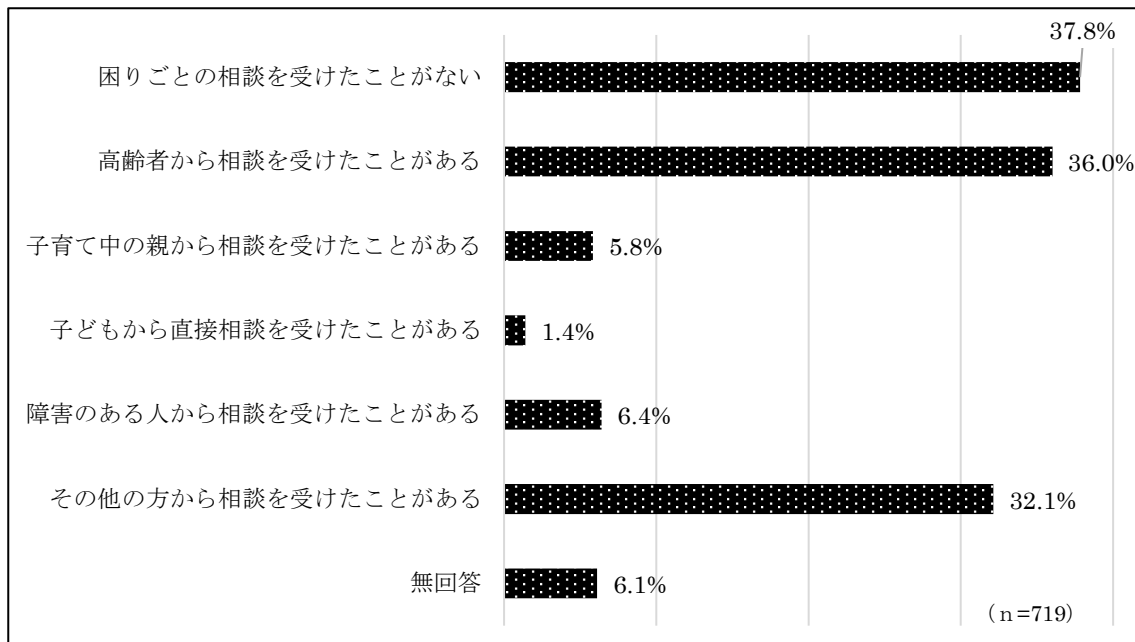
指標



- ① 「名前も活動の内容もよく知っている」と答えた人の割合が 6.0 ポイント減。
- ② 「名前は知っているが、活動内容は知らない」と答えた人の割合が大きく増加 (+7.9%) しており、認知度自体は上がっている (+3.3%)。

10. 住民の生活の困りごとへの対応

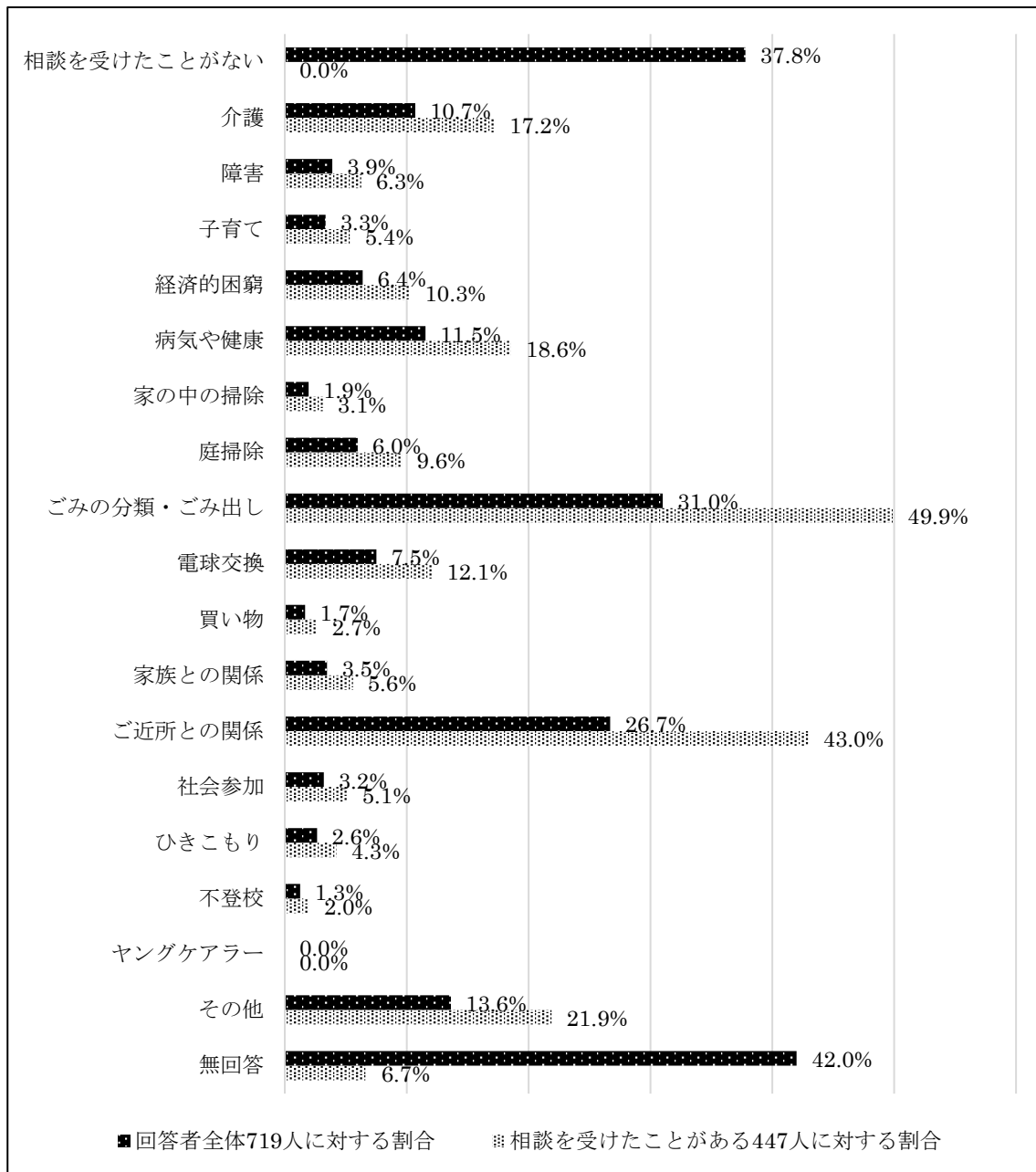
【問 12 住民の生活の困りごとへの対応状況を教えてください。(複数回答)】



- ① 回答者の 37.8%は、「困りごとの相談を受けたことがない」と回答している。
- ② 相談を受けたことがある内容で多いのは、「高齢者から」36.0%、「その他の方から」32.1%となっている。
- ③ 一方で、子育て世代や直接子どもからの相談を受けたことがある町内会・自治会長は 1 割未満だった。

11. 相談を受けた具体的な困りごとの内容

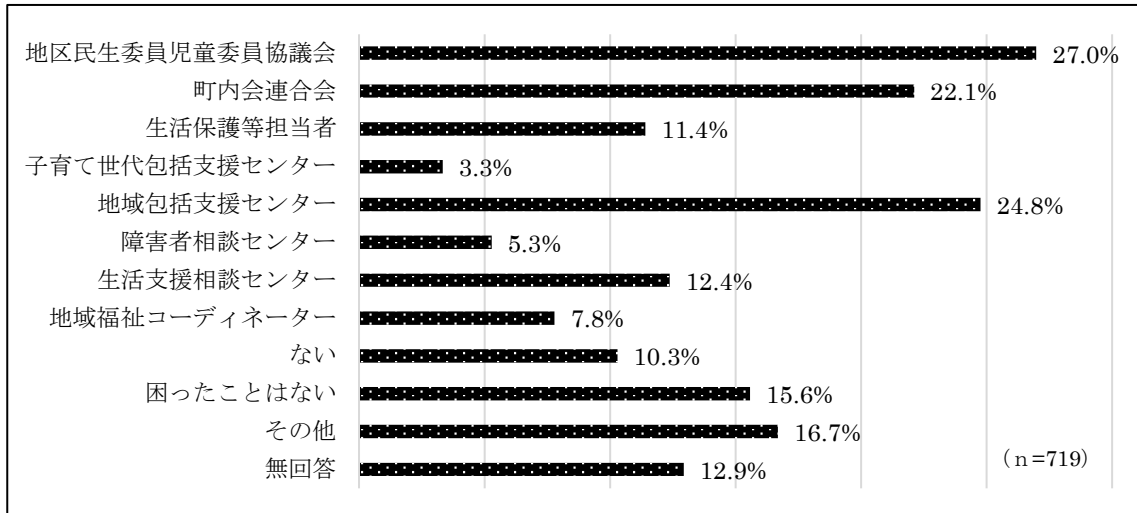
【問 13 問 12 で「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。相談を受けた具体的な生活の困りごとの内容を教えてください。（複数回答）】



- ① 相談を受けたことがある人の約半数は、「ごみの分類・ごみ出し」に関する相談を受けている。
- ② 「ご近所との関係」に関する相談も多い。（43.0%）
- ③ 「その他」の内訳は、動物に関すること（多くは猫）（27件）、空き家等の草木に関すること（19件）、道路に関すること（12件）など。

12. 困ったときに頼る機関等

【問 14 住民の相談を受けて困った際に、頼る先はどこですか。(複数回答)】



- ① 地区民生委員児童委員協議会と答えた人の割合が最も高い (27.0%)。
- ② 町内会連合会と答えた人の割合は 22.1% で 3 番目に高い。
- ③ 「ない」と答えた人の割合は 1 割程度, 「困ったことはない」と答えた人の割合は, 15.6% だった。
- ④ 「その他」の内訳は, 市役所の各課及び警察が多かった。

13. 地域福祉の取組への評価

【問 15 高知市及び高知市社会福祉協議会の地域福祉の取組の評価についてお聞きします。】



- ① 「評価する」と答えた人の割合は 31.7% で, 「分からない」と答えた人の割合が最も高く 59.2% だった。

【評価した理由】

(1) 「評価する」と答えた人の理由

- ・幅広く活動されており, 頼りになる。
- ・何かの時, 頼りになる。
- ・問題が生じた時に, 頼りになる。
- ・いろいろと世話してくれてありがたいと思っている (情報提供も含めて)。
- ・真摯に対応してくれていると思うから。
- ・派手ではないが職員さんは地道に活動ができています。
- ・職員が真面目なので。
- ・地域のために様々な取組を行っているから。
- ・様々な施策に取り組んでいる。
- ・さまざまな企画や取り組みを行なっていて頼り甲斐がある。
- ・いろいろな活動を実際している。

- ・学校で授業啓発をしているから。
- ・多方面での活動。
- ・地域に根差した活動がある。
- ・日々の活動実績。
- ・よく行動されていると思うから。
- ・活動している姿を見ているから。
- ・自身、養成講座などに参加させてもらって、いつも有意義だと思っています。
- ・地域住民の暮らしの問題に向き合い手助けを行っているから。
- ・高齢者等の見守り活動をしている。
- ・地域活動を積極的に支援しているから。
- ・地域活動の柱だから。但し、住民及び町内会側ももっと知ろうとする努力が必要
- ・通常の町内会活動以外の事で尽力しているからです。
- ・地域連携の核となる取り組みを実施しているから。
- ・地域のいろんな会合に職員さんが参加され、活動の内容や取組を詳しく説明して頂いたり、事例紹介し、どうやって解決したのか報告してくれるので、すごく参考になります。
- ・一人一人に寄り添った相談活動をしていただいていると思います。
- ・相談事があれば、それに応じて動いている。
- ・住民が参加している。
- ・ちょこちょこ会いに来てくれるのは良い。
- ・スピードよりも堅実さが大切かと思う。
- ・多様性が尊重される社会において個人の生活環境は一層孤立化している。一方様々な問題に対応できない個人が頼れる場所として存在価値が十分にある。
- ・暮らしを支えるための取組を着実に実施されていると感じる。
- ・安心して生活が出来る。
- ・これからは必要な事だと思うから。
- ・絶対に必要な活動だと思う。
- ・取組を進める事に意義があると感じる。
- ・少子高齢化が進んでいる高知県にあった活動だと思う。
- ・大変有意義な活動だから。
- ・福祉活動の推進は地域社会の向上になる。
- ・理念は素晴らしい。
- ・支えあい活動が大切だと思うから。
- ・地区社協の関係で幾つかの取り組みを承知しており、高齢化する地域の仕組みが少しでもと取り組む活動に参加したことがあることから、一定の評価はするところです。
- ・地域福祉コーディネーターの設置、ほおっちょけん相談窓口の設置、全市展開等の活動を評価する。
- ・ほおっちょけん活動が素晴らしい。
- ・ほおっちょけんの会に参加をしており実際の実施したことについて勉強している。
- ・ほおっちょけん学習を知っているから。
- ・特に共助の在り方として、資金面だけでは無く、町内会と自治体の連携ニーズが今後は問われるが、その先駆けとなる役割が担えている（地域福祉コーディネーターが町内単位の要支援者マップの作成に携わる等）。

- ・ジャンル毎に相談施設があるのは良いと思います。
- ・住民が困った事があつたり、心配事を相談する場所は絶対に必要と思います。
- ・相談出来る所があるのは心強く思う。
- ・相談できる場所があるから。
- ・気軽に相談が出来る所。
- ・皆が気軽に相談できる窓口があることは望ましいと思うから。
- ・窓口が広くなり相談し易くなると考える為。
- ・相談する窓口（場所）を設置していること自体。
- ・ほおっちょけん相談窓口の設置。
- ・困った際には上記8ヶ所のどこかに行けば良いので評価致します。
- ・相談先が多くあり頼りがいがある。
- ・困り事など、まず、きちんと聴いてくれる。
- ・町内会での高齢者対応について、お世話になった事がある。
- ・社協の皆さんはちょっとしたことでも相談にのってくださる。
- ・自分の出来る事はしているので相談にのってもらいたい。
- ・困った時に相談できる。困っている人に教えてあげられる。
- ・生活支援相談センターにはたびたびお世話になっています。
- ・相談先をサポートしてもらっている。
- ・地域福祉コーディネーターの方に助けられた人を知っている。
- ・地域福祉コーディネーターの方は、地域の活動に積極的に関わってくれる。特に、ほおっちょけん相談窓口の設置ではお世話になった。
- ・困った事があると相談しています 解決もしてもらいました アドバスもくれます。とても助かっています。
- ・具体的な活動は、まだ知りませんが、取組があることで、相談したい方の力になっていると思いますので。
- ・社会福祉協議会の皆さんはたいへん努力されています。また、包括支援センターも機能を発揮されています。
- ・地域包括支援と社会福祉協議会とのつながりで各世帯を訪問し介護に必要な方をリストアップした。
- ・地域包括支援センターの手助け。
- ・地域包括センターはとても役に立って助かっています。
- ・民協・町連・交通指導その他の代表者が集合し、いろいろ相談して活動している。
- ・地域社会の有様に支援活動があることは評価できる。
- ・地域での積極活動組織の一つとして評価。
- ・広報などで活動の内容がよくわかるから。
- ・活動の実態を把握していることと、その成果に一定の評価をしているから。
- ・活動内容等が明確。
- ・限られたマンパワーの中、工夫していると感じる。
- ・チラシを拝見して活動内容を理解しているから。
- ・取組の実現を評価する。但し市民に浸透するように更にPRが必要。
- ・さまざまなセンター設置は評価するが市民が知っているか利用できる状況にあるかは疑問で

す。周知が足りないかも？。

- ・評価はするが、もっと取組が広く知られるようになるよう努力すべし。
- ・地元の社会福祉の会合にも出席する時はあり、皆様よく頑張っておられるようです。しかし、そうした家族が居なければ、会合などに出席しないとその活動も、当然ですがあまり見えてこないです。
- ・内容はすばらしいと思いますが、知らない人の方が多いと思います。もっとみんなに知ってほしいですね。
- ・よく活動されていると思います。ただ住民への浸透度の差が地域により偏っているのでは、と思うところはあります。
- ・困っている人の立場に立った施策を実施している。
- ・お金もかかるけどいろんな取組をして一人一人が取りこぼされないよう皆んなで支え合う環境作りを今後も続けて欲しい。人は一人では生きられないから。
- ・困っている方を1人でも無くすなど良い活動だと思います。
- ・弱者の心の寄り処である。
- ・悩みごとや困ったことを住民同志が支え合うことを行政が支援していること。
- ・地域の中でも町内会が入れるばかりではなく外から違う切り口であたってくるのが望ましい場合もある。
- ・共助の押しつけでなく、しっかりと公助機関が役割を發揮することが必要と思う。
- ・知っているが相談した事がない（民生委員に）。
- ・評価はするも、具体的な内容が分らない（開示も含めて担当地域毎の福祉コーディネータの存在を評価します）。
- ・私の知っているかぎりでは評価できると思う。
- ・それぞれの組織で多様な取組を行っていることは評価できる。ただ、受け手側の住民等が十分理解できているとは思えない。
- ・存在は知っているが、連携や活動情報の共有の場がない。
- ・活動があまり解らないが必要だと思う。
- ・活動内容は詳しく知りませんが悪い話も聞いたことがありませんので適正に頑張っておられるのだと思います。
- ・評価するが、何かバラバラなような感じがする。

(2) 「評価しない」と答えた人の理由

- ・身近なお困りごとの相談機能はあっても解決機能を持たない。必要なのは解決すること。
- ・「地域福祉コーディネーター」、「ほおっちょけん相談窓口」の制度のアナウンス不足。
- ・なんの為の窓口なのか、本当に必要としている人間に一切情報が伝わっていない。役人が体よく活動報告を書面に載せるためだけにやっているのか、「そんな支援やサービスがあったのか！」と、知らなかった人が大多数の窓口や名ばかり支援になんの評価をしると？。
- ・知らないからです。
- ・社会福祉に関係する団体が沢山ありますが、その団体に同一人物が兼任しており、活動が中途半端になっている。同じような活動をしている団体を整理し、有効な活動が出来るようにすべき。
- ・地域福祉コーディネーターの活動内容や成果が見えない。
- ・ほおっちょけん窓口に相談したと言う話を聞いた事ありません。

- ・住民の負担が増すような気がする。
- ・窓口を1つとしてそこから各部局へとした方がよいと思う。
- ・行政が関与しすぎ。自分の事はさせる考え必要。
- ・具体的にやっている事が分からない。
- ・名前だけで活動が見えてこない。
- ・ボランティアで何とかしようとしているからよくない。
- ・困っている人はどうでもいい人に相談して「仕方ないね」と別れてみたい。役割を荷なっている人はとつきにくく、常にそばに居る訳ではない。なんでもとりあえず「あそこへ聞いてみたら」みたいな窓口があれば（あってみんなに知られている）いいと思う。用意されてても一般の人は知らない。残念！。
- ・相談しても解決できるか不明です。
- ・目に見える形で感じられないから。
- ・市役所も高飛車で社協は天下り。
- ・自分自身の勉強不足、認識不足があると思いますが、計画自体を知りませんでしたし、地域福祉で良い変化もまったく感じられていませんので。
- ・地域に入ってこない。

14. 自由意見（抜粋）

【問 16 地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。】

(1) 少子高齢化・近所付き合いの希薄化・担い手不足について

- ・ 核家族や高齢化が進んでおり、個人情報保護法等により、人との関わりが難しくなっている。
- ・ 個人情報の問題がネックになっている。
- ・ 個人情報、個人情報で、関係が取れない、何う事がはばかれる時代となった今、厳しい事でしょうが、頑張ってください。
- ・ 個人情報保護法の関係から 80 歳以上の高齢者が何名町内会に居るのか把握出来て居ません。町内会での敬老の日プレゼントは、前任者の記憶に基づいて配布しているのが実態です。町内会会長宛に高齢者リストでも市から頂ければと思っています。以前、防災上の観点から各班別の居住者年齢リスト作成しようと試みましたが…個人情報保護観点から一部役員から反対され断念しました。南海地震に備えた要支援の方を町内会役員で訪問したことがあるが、近所の方の協力がなくて支援はできないと思う。何らかの方法・手段を考える必要がある。
- ・ 少子化、高齢化が進む高知市、各地区を考えたとき、市組織の横断的な検討が必要なぎりぎりの時期ではないでしょうか。
- ・ 朝倉ではふれあいセンターの皆さんのご協力、支援がなければ、地域での様々なボランティア活動ができない状況にあります。
- ・ もっと声をかけあったりみんなが顔合わせる場がほしい。ただ一緒に楽しいイベントを考える人がいないから… なかなか難しいのかな。お年寄りも多いし。
- ・ 地域のつながりが希薄になっており、それを解消できる場所や方法があればと思うが、どこに相談すれば良いかも分からない。
- ・ 当地区は少子高齢化地域で、防災活動も開催したことがありません。
- ・ 昭和時代の「向こう3軒両隣」のお付き合いは過去の話で、現在のスタイルにはそぐわない

行動です。

- ・ 助け合いから、迷惑をかけない付き合い形になっていると感じます。里山中山間地域は、良き風習が存在していますね。
- ・ 周囲の協力が必要な世の中やコミュニティになって来ているのは間違いないですがコミュニティを運営する人材、なり手が居ない。出来ればかかわりたくないひが多く、継続を危惧するところも少なくないと思います。
- ・ 小さな町内会では高齢化の影響がすぐに出ます。そのため、以前には実施することが出来ていたことも厳しくなりつつあります。ネットワークの限界がすぐそこにあるような気がします。
- ・ 若者、次代を担う子供が少ない現状、若者の発想を期待して若者に地域を盛り上げて欲しいと願っています。
- ・ 地域福祉の担い手となる、地域コミュニティが高齢化等により弱体化しているように思います。地域コミュニティを支えるための人材が不足しているのは将来的に大きな影響をもたらすと思います。今後の地域の担い手となる人材として2700~2800人程の市役所職員が地域の住民として地域活動に参加してくれれば事態は大きく改善すると思います。正直な話として同じ地域に暮らしている市職員が地域活動に参加することはあまり見掛けたことがありません。市職員も家に帰れば地域住民の一員であり、それなりの役割を果たしていただきたいと切に願います。
- ・ 地域内の住民の高齢化等が進み、尚且つ若い世代との交流がなくおそらく近い将来、地域の公民館町内会活動が機能しなくなると思う。
- ・ マンションが多くなり 従来の地域住民が少なくなっている状態。地域の状態の把握が難しくなって来た。コミュニケーションが取れなくなって来ている。
- ・ 以前は近隣との交流も盛んであったが、住民の高齢化もあり空家が増え自然と交流がなくなって来た。その上若い夫婦、又小供が少ないので段々と活気がなくなって来た。
- ・ マンション住人は特に町内会にも参加なし、関わらないでくれの声も多い。高齢化は確実に進んでいる。どの様に関わって行けばいいのかわからず。
- ・ 昔の人間ですから、常に皆がなるべく話し合える。また、他人の事も知っているので世話が出切る等、住民同志が笑い合えるような地域であってほしいと思う。他人を見たら「ドロボウ」と思えの教えが広がってしまっているのではないのでしょうか？（皆心は善人だと思うが…）そんな事を目ざして10年以上（町内会長）やっていますがほぼだめですね。
- ・ 独居高齢者、高齢者夫婦など支援を要する人が増えているが、隣近所との関係が希薄で閉じこもりがちになっている。塀で囲われた戸立ての家がほとんどで縁側で談笑する場所がない。集会所などあればよいが町内になく、日常的に交流する機会が少なくなっている。
- ・ 地域住民は一斉清掃等の行事には参加してくれるが、防災活動、懇親会等にはほとんど参加なし。結局、それ以上の住民間の付き合いを望んでいないようである。
- ・ 地域の役員は引き受けたくない。一度引き受けるとやめる事が大変。
- ・ 今現在民生委員がいません。なり手を探そうにも希望が居るはずも無く、どうにもならない状況です。町内に高齢者は多数いても町内の役員さえやろうとしません。結局少し下の世代に負担が全てゆきます。（仕事や親の介護がある方たちです。）高齢者の割合は今後も増え続けます。多数の高齢者を支えるなど不可能になって来るのではないのでしょうか。
- ・ 高齢者しか居ないので、福祉と言われても・・・。
- ・ 高知市から災害時の要支援者の自宅を訪問して個別避難計画を作るように言われています

が、自治会長，民生委員，防災会長の3人で訪問することもできていません。コロナのこともあり、それぞれが仕事や役割で忙しく、体調面での不安を抱えながらやっていますので難しいです。目の前のことを処理していただくだけで精一杯の状況です。

- ・ 顔の見える活動を主として、これからの少子高齢化社会に対応していきたい。
- ・ お互い自分の生活に精一杯の状態、他人の事に感心を持つ余裕がない状況かと感じる。
- ・ 地域住民の人付き合いは面倒ではありますが、犯罪抑止力、防災、福祉、交通等様々な事柄に関連してくるので若い人達が先頭に立ちお互いを尊重し合える街にする必要があると思います。
- ・ 災害（特に津波被害）を恐れて若者世代が居を移すため、独居世帯や空家が多くなり人口減、若年層の空白が加速している事への解消です。私どもの地域で暮らすと常に安心して暮らせる居住地でありたいと考えます。経済的に余裕のある方や、若者や地域でのしがらみのない方は沿岸から離れた居住地に移住していきます。地域福祉に貢献している既存事業への賛助、補助も見直し、定住人口の増加を目指す方策を高知市全体で福祉行政としての柱にも加えてほしい。
- ・ これから高齢化が一層進むのでみんなで助け合う社会になるといいですね。
- ・ 年齢を重ねても自立・自助能力を育てる人を増やしていくことを考える必要がある。その為には若年時からの教育、体育に高齢社会を生き抜くすべを身につけるカリキュラムが必要。今のように現状への対応策だけでは無理があるし、しんどい面も出てくる。
- ・ ゴミ置き場を増やしたいが、場所が見つからない。皆、近くにあると良いが、自分の家の塀に置かれたくないと思っている。高齢者には、近くにあると良いと思う。（特に雨の日とか）
- ・ 一人住まいの高齢者宅がゴミ家敷化している。隣近所数人が訪問して当事者と会って話をしたが前向きに改善しない。特に庭の周囲のゴミが山積みとなり、樹木も茂って困っている。業者に頼み木を切るように話をしたが動かない。経済的に困っているのではなく身の回りの片づけ等ができない精神的な衰えのようである。
- ・ 現在は、個々にスーパー等に自分で車を運転し、スーパー、病院等に行けていますが、何年先の事を考えると不安になります。町内会の清掃も不安の1つです。重いグレーチング等を持ち上げての清掃には、無理を感じる時があります。地域福祉のあり方ではないかも知れませんが…。
- ・ 独居あるいは、老々家庭が増えています。病気の問題やゴミの問題、食糧買い出しなどへ気軽に相談できる窓口と実際に家庭訪問して実情を把握するなど、具体的な対応を期待する。
- ・ 老人世帯への細やかなサービスが増えるようお願いします。
- ・ 高齢化が進み施設などに入れなくなると地域で看取りをする必要がでてくるかもしれない。
- ・ 募金を非常に集めにくくなった（高齢化）。
- ・ 地域福祉は、これからの社会には大切なことだと思いますが、自治会活動（平素）で手一杯で今は、それに係る余裕はありません。
- ・ 調整区域で新たな人口の流入が見込めない場所にあり高齢者と若者の人口比率差に開きがある。今後5年～10年後の人口減少、空屋が増える事について心配がある。当然高齢者（農家）が減少すると調整区域のしびりを見直す必要があると感じます。
- ・ 田舎は集会所での会に人の集まりが少ない。町内会総会、公民会企画、防災訓練、敬老会（お祝いの招待）など（対象者は増大するが参加者減少）。会場往復が苦になっている（高齢化）（企画の内容にもよろうが）選挙にも投票所に行けない。ギリギリまで人に頼まない（個別に聞きにいったらあげること）独居老人は困っても①遠くの子供に相談する②業者に頼むと

高額払う時がある。介護などは休日や施設から帰った後の生活が家で連絡していて何を頼んでいいか不明。介護サービスの向上。(案) ①月一回前もって連絡あった家庭にゴミを引き取り。

- ・ 住民だけでなく、地域内の店舗や事業者（所）にも地域に入っていくことを意識してもらうことが大切だと言えるし、そういう視点を持っている店舗や事業所がよく利用されているようにも感じる。
- ・ 基本的には、町内会のエリア内での防犯や環境を整える事を重点的に考えています。ただ、災害時には助け合えるようにはしたいと思っておりますが、個人情報やプライバシーを重視したいので、同じエリアに居住しているだけで必要以上に接触したくはありません。また、高知はお酒の席を重視しておられるに思いますが、上記の理由でそのような席には参加したくありません。
- ・ 地域共生社会の実現は大事なことだが参加されている方が高齢なので後継者の参加が急務です。

(2) 町内会・自治会活動について

- ・ うちの町内会は近所の人がどういう人でどういう家族でどこに勤めているとか分かりませんが、緊急なときや、災害時にお互いに助け合える様になれば良いなと思っております。
- ・ 町内会も町内会費が寄付他に利用されており、処方面への寄付団体化している。
- ・ 町内会活動の育成、強化を重視して、市町内会連合会と連携を深め、支援体制を強化することを希望します。
- ・ 町内会が若返り、活性化することで大抵の問題は解決しそうに感じています。
- ・ 各団体での自治会に加入しない世帯をどう考えるか。自治会の存在意義や加入者の負担をどう考えるか、たくさん問題がある。
- ・ 各団体への寄付金がおおく、本来の町内会活動に支障をきたしている。会議等への参加も多い。町内会役員の負担を減らし、町内住民への福祉活動に費やす時間を確保していく事が重要と思う。
- ・ 会長の私をもっと積極的に、動くことが大事。今は、あまりできてない。
- ・ 地域福祉ではないが、外灯の管理・電気代は市が負担すべきではないだろうか。資源ゴミ等の出し方等の方法の指導はどうしたら住民に守ってきちんとやってもらえるのか。町内会費を払わない人から町内会費を集める方法は？（私は町内会費は払いません。と言う人がいますから）。
- ・ 難しい問題で、ボランティアで町内会や自治会活動の内では大きな問題は困難。当自治会はボランティア活動の範囲。
- ・ 小世帯の町内会なので、大世帯の町内会活動とは状況が異なるのではないかと思う。
- ・ 私の属している町内会も、何人か町内会から脱退する人がいます。恐らく役員等になるのが嫌だからだと思いますが、町内会に属さずに利益だけ（不燃物を捨てたり、細かい事を言えば外灯等の電気代も半分は町内会でまかなっています）享受するのはいかがなものかと。我ながら心の狭い事を言っているのは分かっていますが内心モヤモヤしています。それから、なんでもかんでもネットにするのはやめて下さい!! ネットだけの回答や応募となると出来ない人が必ず出てきます。当方スマホは使えますがネットだけとなると困ります。
- ・ 戸建の小さな町内会なので、できることと思っている。
- ・ 町内会では、昔のような関わりは不可能であり、行政が窓口を住民に周知し、しっかり税

金で対応することが必要！。

- ・ 市の行政としては、少子高齢化が一層進む中で、自助、共助、公助での仕組みづくりを柱に地域福祉を今後も推進されるものと考えますが、町内会があっても、かつての交流は途絶え、街灯の維持、可燃物/不燃物の収集協力に留まるところや、役員のなり手がなく、町内会の解散するところなども見られ、5年後、10年後の地域における住民生活は一層深刻になると考えます。
- ・ 高齢化が進み、若者の町内会活動に参加が少なく町内会の存続維持が将来困難になる可能性があります。民生委員と町内会が情報を共有、協働できる仕組みが出来ると、民生委員としても町内会としても取り組みやすい。
- ・ 不燃物ゴミ集積ステーションへ3分の1ぐらいは老人の方で、堤防の上り降りする時危険で居合せた方が手を差しのべます。階段に手摺りを取り付ければ解決する、最近車椅子の方が多くなったように見えます。鏡川大橋下東西に通路を作ったら安全でこれは議員にも相談したが無駄でした、ゴミの問題も数多くあります。
- ・ わずか11戸の町内会で全員が60歳以上で、現在はなんとかゴミ当番などでできています。子供世代とは別々に暮らしている世帯、単身世帯もあり、今後、自分たちだけで解決できない問題が発生したときは困るな、と漠然と考えています。
- ・ スミマセン地域福祉まで考えつきません。自分が生活する町内会をどうするか？自主防災会をどうするか？公園愛護会で花壇をどうするか？その事が最大の懸念事項です。
- ・ 高齢化と少子化に伴い、地域のマンパワーは確実に小さくなっています。町内会組織の空洞化も同様に進んでいます。行政と町内会等の地域組織と連携を図るのではなく、行政主導で行うのが望ましいと考えます。そうでないと、行政の下請けのごとく、地域住民の細部にわたる相談、悩み事を集約し陳情をする。もしくは行政からの要請を地域住民に知らせるなど、地域と行政の架け橋として、狭間で忙殺されることになるからです。そうした機能を備えた機関を町内会以外に地域に置いてほしい。資金的な余裕がないのも理解できるが、そうであれば、市の職員が町内会を先導してほしい。
- ・ 高知市郊外は町内会活動の継続が高齢化などにより困難な町内会が増加。その事は市も把握しているでしょう。予算無いので地元で頑張ってくださいと丸投げされても困ります。
- ・ 不燃物収集も市民の協力無しには成り立たないが、ステーションの市職員の早朝巡回にも残業代がでているのですか？出ているのならば、各町内会の立会者にもそれなりの手当が必要では？今の手足額では釣り合いがとれてないのでは？市職員が業務として居住地の不燃物ステーションの立会をしても良いのでは？。
- ・ 少子高齢化社会となり、町内会活動も、役員の選出等、苦勞が耐えません。地域で助け合うことは、必要かもしれませんが、ひと昔前のようにはならないと思います。
- ・ ゴミ出し関係や野良猫対策で相談があったが、住民が自らやる考えが無く、結局会長が対応するしかない状況である。町内会役員のなり手が無く、色んなことをやれと言われても対応できない。
- ・ 地域福祉よりも身近な町内会運営がキンキンの課題。無関心町内会、誰が何をやっても無関心。順番という押付町内会。
- ・ 何のための町内会かさっぱりワカラナイ。
- ・ 町内会は、地域の問題にいち早く気づく最小単位です。しかし、問題解決の手段は持っていません。
- ・ 町内会役員の高齢化で世代交代が必要だが見つからないのが実情です。この為、町内会行

事が少なくなり益々世代交流が少なくなっている状況です。昔の様に隣近所で助け合うのが難しくなっています。

- ・ 町内会活動は、役員などの交代が少ないため膠着状態。交代する人がいないのを全ての言い訳にしている。座して死を待つでいいのだろうか？祭りなどを起爆にして、地域活動を取り戻せないものか。
- ・ 町内会で担当する役員を考えてもいいが、町内会自体の規模が小さく会員が少ないため出来ない。又、高齢化が厳しく、若い世代の参加を促し世代交代を如何に進めるか、町内会の課題として捉えている。
- ・ 前任の会長が突然死したため、代役として会長として就任し13年を越えたが、後継者がいない。自分のもとより高齢の妻の介護もあり、なるべく早く退任したいと考えているが、町内の現状では自分が動けなくなるか死ぬる迄会長をやらざるを得ないと考えている。町内会長が行政の末端の役目を担当していることを考えると現在のボランティア制度による会長選任は限界ではないかと思う。非常勤の市役所職員とし、それなりの報酬も与えることも検討すべきと思う。そうなったとしても個人主義が先行する時代、会長職を引き受ける人がいるかは疑問。周囲の人の声は「好きでやっているやろう」とか「ようやるわ」等の言葉が多く、困った時だけに頼み事を処理している便利係のような存在と感じている。日本人の価値観が変わっていることと現在のシステムが整合していない現状。
- ・ 次期計画策定の基礎資料とのことですが、私共の町内会の目的は、会員相互の親睦、町内の環境美化、防犯・防災対策が主な活動であり、福祉に関する事は殆ど出来ていません。要因は役員への成り手がなく、役員の高齢化及び少数体制なので福祉まで手を出していないのが現状です。
- ・ いつも言っていることだが、とにかく担い手がいない。町内会の役員になり手がいない、若い者は見向きもしない、自分の子供が関係する行事（区民運動会等）には出てくる。その他の事は我関せずである。
- ・ 町内会の運営は年寄りばかりでしかも不足している。（役員（副会長5名のうち2名欠員で後を引き受けてくれる者がいない）のなり手がいない。また不燃物の指導にも人手不足が続いている。この現実を見ずに（解消する手だてをせずに）コミュニティーの再生だ！南海トラフが地震を起こしても一人も犠牲にしない！などといってもできるわけがない。
- ・ コロナ明け、久しぶりの区民運動会、参加するか否かを10人程度で話し合い、地域と振れ合う機会をこれ以上減らしてはならないとの事になり、参加することになった。しかし本番に参加出来たのは10人中2名であった。何とかせないかん、ほおっちょけんと思っているが忙しすぎる。定年が65歳となり、70歳でも週40時間勤務する、高齢者でも金銭を得るための動き方中心にならざるを得ない。しかし「つながり」のためこれも必要、あれも必要とボランティアは増える、結果誰も気軽に踏み込めない状況。よほど気合を入れないといけないボランティアはしばむ。引き算していかなくてはならないと思う。
- ・ 高齢化が進んで町内会活動等にも支障が生じている。
- ・ お金を払ってでも町内会のことはしたくない！とゆうのが住民の気持ちです。継続した福祉の実現には利用したい人が利用したい時にお金を払って乗り越える。その費用をできるだけ安くするしくみや補助金。難しい問題であると思います。
- ・ 町内住民の高齢化により将来の町内会組織、活動等に不安を感じる。
- ・ 私は現在、地域の中の小部落の部落長をしていますが、私の部落は半数が自治会に加入しておらず、加入している方も高齢の方がほとんどです。14軒の内加入しているのは6軒です。

その内、部落長が出来る方は私を含め4人で、毎年順番になっています。(2人が80才以上の方です)。毎月7日に会に出席し、回覧で連絡しています。以前は、毎月集会をしていましたが、コロナ以降、必要な時だけ集まっています。部落長と防災員も兼ねていますが、こんな状態で実際に災害が発生した時、どうすればいいのか、不安に思っています。地域福祉のあり方とか、あまり考えた事はありません。申し訳ありません。

(3) 地域の集いの場について

- ・ ソフト面さながら、ハード面にも少し力を入れてほしい。
- ・ 一般住民の多くは接する機会がないので活動内容を知らないと思います。例えば地区の集会等の場に出て意見交換をすれば知ってもらう機会が増えるし、様々な活動にも接する機会が増えると思いますのでもっと出会いの場を増やせば良いと感じます。
- ・ 地域の多世代の人が自由に利用できる場所が必要。人が集まれば話をはじめ、困りごとや、情報交換もできる。公民館が無いので、空き家でも利用出来ればいいのだが、後押ししてもらえない何かがないと腰が重い。
- ・ 老後に楽しめる場所が欲しい。
- ・ 私の地域では誰でも集まれる場所がない。下知コミュニティセンターはあるが、年寄りには遠くて行けないという。気楽にすぐに集まれる場所が欲しい。
- ・ 高齢者への対応!地域のふれあいセンターに健康福祉部・地域共生社会推進課の出先(担当者)設けて、地域の町内会に推進して下さい。
- ・ 町内会には集会所がないため、個人の家で集会等を行っている。集会所のない町内会等を調査し、2、3の町内で協同利用できる集会所等(市関係建物内)の建設をお願いしたい。その中で地域福祉について協議をしたい。
- ・ 少子化と高齢化が進む中で、独居の高齢者家庭が増えるだけでなく、未婚の息子や娘が親の介護にあたっているケースも散見されるようになってきている。若い世代が転入しやすくなる仕組みが大切である。自分で動ける高齢者や家族の付き添いで動ける高齢者の集まる「居場所」に子供たちが集まって遊ぶことができる広場的な機能のある場所と隣接していれば望ましいと考えているが、どちらの「居場所」「遊び場」もあるとは言えない現状である。住民同士が顔と名前が一致する人を増やせるような仕掛けを続けていきたい。やはり、「場所」が大切なので、公民館や天満宮のお祭り等を大切にして活性化させて、地域内での交流やにぎわいに苦心していきたい。

(4) 住民の困りごとへの対応などについて

- ・ せっかく苦勞をされている活動をしていると思うので知ってもらう機会を増やすべきと思います。困りごとがあっても、どこに相談していいのかわからないのとこんな小さい困りごとを役所に相談していいのか?と遠慮するのでは?。広報などで、もっと具体例を挙げてこんな小さい困りごとでも連絡していいんだ的な告知をしては?。また相談窓口が幾つかあって高齢者はどこに相談していいのか分かりづらいのでは?。まずはこちらの総合窓口があれば良いと思います。
- ・ 実際に戸別訪問してみないと、どんなことで困っているのか分からないし、人によって恥ずかしくて相談できない人もいます。又、こんなことを相談しても無理だろうとか、勝手に思い込んでいる人もいると思う。定期的な訪問、集会所等での相談会、あるいはもっとぎっくばらんに安価の食事会等で、親交を深めていけばいいと思うのですが・・・。

- ・ 家庭内で解決が難しいことを当人より相談可能な距離感が持てる事。また、外から見てとれる位の感心が寄せられる距離を持ちあえる事が大事だと思う。
- ・ 時間が無く、相談をあまり受けることもなければ、相談されたことを福祉課に話す時間もない。地域に老人が多く、見守りを行える取り組みがあると良いと思う。
- ・ 日常生活のちょっとしたことで困っていることをいつでも簡単に相談してもらえ、みんなが気軽に助け合える団地にしていきたい。
- ・ 生活の困りごと解決、日頃の見守り、避難行動要支援者対策などは、町内会程度の単位でないと実践できない。行政の支援は、小学校区単位の地域内連携協議会や自主防災組織連合会、町内会連合会等を対象としているように感じるが、それでは具体的な小地域の支え合い活動の発展にはならない。町内会程度の小地域を単位とした地域支援にも目を向けるべきだ。
- ・ 地域内に「ちょっとした相談窓口」が常設されていれば高齢単身世帯は安心出来ると思います。また、若年世帯(子育て世帯含む)を巻き込んだ地域集いの活性化方策による地域の活性化を図ればよいと思います。
- ・ 高齢化が進む地域社会が現状です。71歳の私が若手なのです。介護・障害・日常生活・家庭環境など様々な問題が考えられます。相談窓口と地域住民の連携が必要だと思います。来年はどろんこ祭りの当番地区です。すでに運営の取り組みがスタートしています。6年前、その6年前…私は40歳代から運営に参画してきました。40歳代の頃は青年部で女天下の女性も多くにぎやかでした。今は70歳代後半から80歳代。90歳代が多く、どろんこ祭りへの参加者が減少する可能性が高いのです。
- ・ 人には、それぞれの考え方や生活の仕方、などがちがうのでどこまでお世話していいのか？福祉のむつかしさがあります。
- ・ 当事者へのアプローチを、もっと行政としての立場から、頻度を上げて行って欲しい。
- ・ 問10にあるいろいろな相談窓口があようだが、また、市役所にもそれぞれ担当部署があるが、ワンストップで対応してくれる窓口が欲しい。
- ・ 地域福祉活動推進計画は基本理念を目指していることから、提案ですが、社会福祉協議会等から直接各町内会・自治会に出向き、町内会等が開催案内や会場設営をし、協議会が主体となって住民からの色々な相談を受け、そして対処して頂ければと思います。脆弱な町内会なのでそうした寄り添いを期待します。
- ・ 問10についてそれぞれ名称は聞いた事があるが設置場所、内容等詳細は知らない。又、近い将来空屋も増える可能性が大と思われる。
- ・ 高知市は生活に関する相談窓口がたくさんあるようですが、直接相談の利用者はたくさんいるのですか？基本は住民の助け合いだと考えます。
- ・ 独居老人や認知症をかかえた家族の把握。地域医療と町内会での協力関係を地域包括支援センター及び地域福祉コーディネーターが町内会ともっと具体的に立案し共に協力関係を築いていけないと思います。情報交換が必要です。
- ・ 地域包括支援センターの14エリア毎に、相談の入口から解決までを見える化し、いい取り組みを共有するとともに、体制をより充実させるため、国に財源をしっかりと求められたい。事業者にちゃんとしたインセンティブが働けば、競争原理の基に好循環が期待出来ると思う。
- ・ 高齢者や障がいのある方、生活に困っている方とか、相当数居ると思います。窓口もそれぞれありますが、当事者はそこらへんで世間話をして別れます。「それやったら〇〇さんにきいてもらいや！」と便利な人を地域に配備？配置したらよいか？※夜も早朝も色々畳みか

けて対応のためメンタルをやられたり本気でやると命がけと聞きました。色々対応ご苦労様です。

- ・ 一人で困らず相談窓口を探して、つなげていきたい。
- ・ 地域の方は困っていてもなかなか言ってくれないのでこちらから気をつけてチェックするようにしなければ。と思っています。月に一度は各家庭を廻って相談にのるようにしようと思っています。
- ・ 地域福祉は昭和の中頃まではよっぽどの事以外は行政に頼らず互助でまかなえていたと思う。根本は各個人の心の有り方で成り立つのが地域福祉になるのではないだろうか？行政主導で地域福祉を考えた時、組織上どうしても担当が細分化され、相談しようにも相談先もさかりにくく部署をたらい回しにされるのが常なので困る。
- ・ このような難しい問題は、簡単に言えるようなことではない。相談の窓口が多すぎる。まとめ、1ヶ所で、相談を受け入れ対応するところが必要。
- ・ 困っているのに遠慮して手を挙げられない人は、まだまだ多いと思います。地域コミュニケーションをと思って何をしてあげればと悩みます。住民との挨拶、声掛けをするように、心掛けていますが、深い相談などをしてもらえない事はないです。とりあえず、コツコツと挨拶、声掛の積み重ねが、困っている人にたどりつくとおもいます。
- ・ 地域でお助けマン出来る人を募り登録してはどうか。
- ・ 自治会長や町内会長の方に、話を聞きに出向く取組があれば、情報交換ができて、相談窓口についても広く知れることになるのでは？ 相談したい人が行くことがメインではあるのですが・・・ 何気ない会話の中から色々な話ができ始めることはよくありますし、つながりのきっかけにもなるのでは・・・。
- ・ 出来れば、野良猫の不妊、去勢に力を入れて欲しい。
- ・ ゴミ置き場へいつ何時でもゴミを出す箇所が1ヶ所あり困ってます。対策はしてもらっていますが一向に効果がありません何とかありませんか？。

(5) 広報・情報発信などについて

- ・ 自治会の活動内容はわかるが、仕事をしているので地域のその他の活動状況がよくわからない。
- ・ いろいろなケースがあり、相談窓口が多岐にわたっているので、どの窓口でもすぐに相談窓口が分かるように分かり安い案内があればありがたいと思う。
- ・ 自分の地域の相談場所と何を相談できるかを一覧表にした冊子があれば利用しやすいのではないか。
- ・ 住民が市役所へTelでどこへ行けばもしくは電話したら良いか分ると良い。
- ・ 福祉の相談窓口としたものがすぐに答えられることがないのでもっとわかりやすい窓口としたものがあればありがたいですね。あとは近隣でそういった相談が交わされるような付き合いが出来ていれば理想かと思います。
- ・ 町内会が気づいた問題を支援して頂ける『窓口』について分野別に広報、周知をお願いします。
- ・ 地域福祉の窓口が沢山ありすぎて対応しづらい。わかりにくい。解りやすく整理して（図解など）ほしい。
- ・ 相談窓口が問10に9つもあるのに町内会長の私でさえ知らない窓口がたくさんあります。一般の方はもっと知らないのでは。困り事があれば民生委員や町内会へ相談できるような体

制づくりをする。困り事の一覧を作成し、こんな場合はどこそこへ TEL するような表を「あかるいまち」に一枚紙で入れる。町内会や民生委員は老人を外へ連れ出す(百歳体操などへ)。

- ・ 問 10 の各相談窓口について、「高知市まちづくりガイド」(地域コミュニティ推進課編集)の P37 にある連絡先一覧表のようなものがあれば、相談窓口の所掌概要や電話等が分かりより活用しやすくなると思われます。
- ・ 困り事、悩みといったものを気軽に相談ください。といった言葉をよく耳にしますが、問題を抱えている人の多くはなかなか”気軽に”とはいかないようです。どこへ相談したらよいか分からない人へは情報提供を細部まで届けられるように、相談に行きたいのだけれど腰が上がらないと言う人には背中を押してくれるような仕組みができたらいと考えます。
- ・ 市民の皆様が市が設置している相談窓口があるということを協力、努力して(私たち)知ってもらい、困っている多くの方に利用してもらおうようにしましょう。
- ・ 多くの相談窓口をいかに住民に知らせていくか、周知の仕方もこれから工夫してください。
- ・ 市の設置している各相談窓口等について、町内会長を含む町民も周知しているか疑問です。せめて町内会総会や、町内会連合会などに当局は出向いて周知徹底を図るよう。今のままでは、役所の自己満足のようにも思えてなりません。私も不勉強ですみません。
- ・ 各種の活動の実態をみんなの街にのせて紹介するべきと思う。
- ・ メンバー同志の会は聞いたことがありますが、内容等を外部に発信することに心掛けてみては!!。
- ・ どこにどういう団体(福祉)あって、どういう機能があるか、殆どの市民が知らないと思うので、学校教育、企業教育の方で周知してもらおうようにしないと、認識も高まらないしせっかくの取組も広がりを見せないと思うので、もう少しやり方の改善をすべきでは?。
- ・ 町内会に情報を積極的に発信願いたい。
- ・ 私は社会福祉協議会の事業などについては、ふれあいセンターで教示を受けています。一般住民に分かるようにするためには、高知市広報「あかるいまち」などで特集を組んで広報すべきだと思います。今時は「個人主義で他人の生活には無関心」です。その広報を実施することにより、助けられる方も見つかるのではないのでしょうか。
- ・ 誰の為の何の為の活動かよく分からない!いつ、どんなにして活動しているのですか?地域福祉がどういうことをしているのかも知りません。
- ・ 知らないで相談できないということの方が多くて、高知はこういうことに力を入れているということが分かりません。地域の方にわかってもらうという努力をもっとしてほしいと思います。
- ・ 町内会連合会の会議の場や総会(定時総会)での紹介をお願いしたい。

(6) 地域共生社会の推進、地域福祉の推進について

- ・ 抽象的であるが、テレビに出てくる、昔の長屋の感じであろうか。その現代版は難しいとは思いますがそうあればと考える。
- ・ 各地域の実情に合った地域型共生社会を進めることが大切であり、行政や地域福祉コーディネーターはもっと広く地域へ入るべき。
- ・ 市として今後のどのような地域社会の姿を考えておられるか。一定の活動単位と見られる町内会、自治会を一律に見るのではなく、一定の診断を行う中で、幾つかのモデル的な姿を提示しながら、市として、市社協としての役割、地域として取り組めることを提示しては如何でしょうか。市、市社協も”ほおっちょけん”をキーワードとして、幅広くボランティアの

仕組みづくりに取り組まれ、その広がりも見られますが、現状や課題を抱える中で、どういったレベルの地域福祉を目標にされているのかが、よくわからない点もあります。また、地区の社会福祉に取り組む民児協や社協の現状をどう評価されていますでしょうか。地域にある公的施設の役割が現状で良いのか、あるいは地域福祉の一定の拠点にすることも一つの課題とも思います。

- ・ 地域共生社会の実現を実施するには人と人とのコミュニケーションが取れる環境整備はもとより若い世代が地域内に生活の基盤になる職業があり、小児化に対する支援制度を国を上げ取組み教育、医療、育児への無料化などを実施し、豊かで安心した環境整備そして文化の継承が出来る国民、県民、市民が平等に平和な社会への取組みを皆で真剣に考えウェルカムな市政にて他県他国からの永住希望者を受け入れ受け入れ易い法改正も踏まえ検討する必要がある。
- ・ 公共理念と現実の倫理道徳理念のどちらの物差しを持つかに関しては、公と民では隔たりがある。「高知市地域福祉活動推進計画」の策定は理解し評価する。「地域福祉」においても、公的支援は範囲内であれば評価する。「高知市地域福祉活動推進計画」を策定する手順として今回の行政アンケートと理解するが、現実「地域福祉」に関しては、限界、限度が存在。また責任の範囲内にとどまる。これら公的に責任を取れない範囲を、地域自治会に委ねる方法を「アンケート結果」に基づくとし余り良く理解できていません。
- ・ 高齢者でも子育て世代でも、山間部で生活が継続していけるよう、ご支援をお願いしたいです。
- ・ どう対処すれば良いのか分らないから放置するのではなく、それを学び理解し、後世にも自然と繋がるようになればいいと思う。
- ・ 個人情報保護の観点。共働きの増加、片働きの著しい低下。慢性疾患をもった高齢者の増加。住民の助け合いでなく、事業所がしっかりと援助していくべき状況だと思います。SDGs 持続可能な社会の実現のため、シルバー人材のように、働きたい人が集まってお金をもらって支援する仕組みを作るほうがよいと思います。
- ・ この地域に転入してきたのが2年前なのでまだすべてを把握できておりません。
- ・ 支援を受けている方が、本当に支援を必要としているのか疑問に思う時がある。また支援を受ける権利主張が激しい人が見られる。
- ・ 私共の居住地は日々、安心して暮らせる地域作りが出来る事を熱望している。
- ・ 地域福祉や地域のつながりは資源なので、市井の人達が少しずつ貧しくなればそのつながりの資源も減っていくかと思います。具体的な例えをすると、日々の仕事に追われ、来年、5年後、生活の不安や月々のローンの支払いに精一杯の人達が目の前で少し転んだ人に声をかけられるか？という問題があるかと思います。「目の前の困った人に声をかける」前に先ず自分の用事、仕事を手離す必要があるからです。この為に必要なのは心の余裕です。心の余裕を作るために何が出来るか？それが取り組むべき問題だと思います。
- ・ 市役所と住民の距離が遠く感じる。
- ・ 民生委員さんは、とても頼りになっています。高知市さんの言う地域福祉、あまり評価せず。高知市長さんの言う地域共生社会、信用しておりません。
- ・ 地域福祉は民生委員が、対応していると思っているので、この地区にはいなく、民生員と自治会長のかかわり、連絡などもないので、交流（民生委員との）が必要である。
- ・ 地区民生委員の活動がわからない。
- ・ 民生委員にもっと活動してほしい。独居老の訪問など。鴨田地域だけ今年敬老会の記念

品もない。80才以上の方には高知市から500円出ているがそれも配らない。民生委員は大変だと思うが。

- ・ カテゴリー別の民生委員の導入。有償で！。
- ・ 福祉といっても主眼としてみる対象は高齢者，幼児，障がい者など見る人によりさまざまなウエイトになると思います。多岐にわたり洩らさず受け止めなければですが非常に自分の生活と合わせてこなすのは大変。不十分な活動にジレンマを感じております。
- ・ 近隣のお付き合いとかは奨励して出来るものではなくそこが一番大変なことなんです…
- ・ 福祉，防災の面から，個人と個人，さらに地域と地域がつながっていければと思います。
- ・ 地域包括支援センター，ほおっちょけん窓口等にお世話になっております。
- ・ 行政，地域が連携してより良い方向に向かってほしい。DXの活用なども積極的に
- ・ もっともっと地域内でのつながりを持てるようにしたいです。
- ・ 今後も安心して生活の出来る活動をよろしくお願ひします。
- ・ 色んな困りごとでも，結局は自分らで解決せざるを得ないことが多い。よく話など相談にのってくれるが，そこから先の部分はやってくれないので，先程申したとおり，結局は自分（町内会）でやるしかないのが，実態だと思う。要は住民→町内会→市の担当者→町内会（戻り）→業者など（進まない）…ここから先は進まない状態です。例えば，春野町の池うめたて，帯屋町の広場の問題など。
- ・ 日本の政策の間違いでしょ！特に田舎は…ずっと与党ばかりが政治しているので国に頼ってばかりで自分達で考え自分達で行動することがない。他力本願で不安ばかり言いゆう。責任は他人に押し付けて自分で取らない。しょーもない。だから自分の地域は自分達で守りますよ。ばからしいき！福祉は人，人が集まれば知恵もお金も物もついてくるそれがわかる人がリーダーすれば町内は安定するそれだけのことでしょ！。
- ・ 行政は福祉の財源を考え範囲内で行う事が大切。やりすぎの面がある。（例えばゴミ出しの件。出したゴミは自分で処理させる事）。
- ・ 地区社協の活躍を期待しています。これからも地域のために頑張ってください。
- ・ 百歳体操の活動にもっと力を入れてほしい。
- ・ 「ほおっちょけん」人が高知は多いと思います。ただ一人の力だと前に進まないことか多いように思います。市の力を中心に今後の活動を多に期待します。どうぞよろしくお願ひします。また，私の住んでる地域では自治会長さんが前面に，またある時は陰となり頑張っていることに最近気がつきました。平和に住めるとはこの様な方々のお力あつてのこと。その方々の力も多に目にとめてあげて下さいませ。いつも幸せな暮らしをありがとうございます。
- ・ 当然のことではあるが世の中の発展に伴い，各分野でIT化が進み，若者の雇用が少なくなってきた。その為お金を稼ぐのに詐欺，強盗の犯罪が増え，いつどこで襲われるか弱者にとっては非常に心配である。難しい事ではあるが，若者が働きやすい職場環境を作っていくためにも，若者を雇用している中小企業に対して，給料の一部を補助する等の政策をとり，雇用の安定を計ってほしい。
- ・ このアンケート調査で何を知って，どう生かそうとしているのかがよくわからないアンケートだと私個人は思いました。
- ・ 各種募金（赤い羽良等）が町内会で取り扱いできないようにしてほしい。町内会費を有効に使いたい。
- ・ お互いを支え合う関係をつくるには，どのようにしていったらよいか，知恵が欲しい。支

援してもらいたい。県・市計画を実行するため地域に出てきて支援してもらいたい。

- ・ 地域（町内会等）内での交流，出会いの場を増やし，おたがいさまの繋がりを強めることが大切。昔の社会を見習う。
- ・ 市長が交代しましたが，岡崎・松尾・横山・坂本・氏原・・・と高知市の社会的弱者を大切にしてきた先輩の市長や行政実績を後退させるとことなく，地域福祉の充実に取り組んでほしい。
- ・ 前市長はワーカーあかりで気やすく話せました。現市長は自民で力はあるが企業を向いている様です。福祉については議員さんやっただし期待していますが，財政が県市とも↓なので最賃を 1000 円にして行政府は理念よりも市中をカネ回りよくしてください。
- ・ お隣さん，近所，班，町内会と普段から関わっていることが大事。情報交換等しながら，困っている方（家）があれば，対応を考え，関係各所と連絡し，相談していく。
- ・ 今後，高齢化や障害者支援，子育て支援等 様々な課題が増えてくる。多くの人は，複数の課題をかかえており，包かつ的な支援体制を取る事が大切。
- ・ 電話等で交流を深めたい。このコーディネーターが必要。
- ・ 高齢者世帯や子どもの居る世帯などの見守りのきっかけ作りが難しい。民生委員さんも忙しく手いっぱいのように，何らかの見守り施策があれば良いと思います。
- ・ 一人でもひきこもりにならないようにしたいです。
- ・ “旭は一つ” 鏡川南岸の地域福祉のあり方について十分なご指導ご配慮をお願いします。
- ・ One for all・all for one. 背伸びせず自分の出来ることをすることが大事！！。永続する他人を思いやる心が自分を大切することにつながる。
- ・ 「福祉」とは何でしょう。「地域福祉」「社会福祉」という言葉が使われますが，その「福祉」はどういうことを指しているのでしょうか？。市の職員の方は皆さんご存じだと思いますが，一般では「生活保護？」とか「弱者救済」とかに取られがちです。第 2 期の推進計画のパンフレット最下部に「地域福祉」の解釈があり，「福祉活動の総体」とあります。難しい言葉ですが，その「福祉」とは何でしょう。第 3 期の時にはその解釈を載せていただきたいです。
- ・ 今のところ，地域福祉を身近に感じずに過ごせていることに感謝している。しかし，いざとなった時は助けを借りる手だてがあることに安心出来ます。
- ・ これが出来れば，市民の不安も軽くなると思う。
- ・ 市民の心配，不安を解消するのが，行政の務めだと思う。
- ・ 「地域福祉」の文言から，最近思い出し考えてみるものが三つあります。一つは ① 高知新聞社が，副題「高知市長選を前に」を添えて連載した，「県都はいま」6 回目（2023 年 11 月 1 日付け）の記事。「町内会の衰え」です。二つ目は ② 高知新聞社の記事です。見出し「警備員がごみ収集手助け」を付け，「高知市が企業と地域活動つなぐ」と紹介した記事（2023 年 11 月 11 日付け）。どの部に属するどの課が，橋渡しをしたのか分かりませんが，今後広がることを望んでおります。三つ目は ③ 環境部環境業務課による「ふれあい収集」になります。②と③の取り組みが，中核市に求められる行政標準を超えた，独自の取り組みであるならば，素晴らしいことだと思います。地域の人と人との関係も希薄化してきたと思われるが，さまざまな問題が，それぞれ見受けられます。少しでも問題の解決に踏み出せる，近づける様に，町内会の中でも話し合いを持っていけるようにと思います。
- ・ ①適正な地域福祉活動の実施（もっと現場に出たらどうですか。） ②このアンケートの集約結果を評価なしの数字を知らせてほしい。
- ・ 地域みんなで支え合えるような仕組みを作って行けばいいと思う。

地域福祉に関するアンケートのお願い

あなたは、困っている人がいたらどうしますか？
ほおっちょく？ それとも ほおっちょけん？



町内会長又は自治会長の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

人と人との関係が希薄化してきたといわれている現代社会ですが、高知市は「つながる，をあきらめない。」みんなでみんなを支え合う社会「高知市型共生社会」を目指しています。

このような社会を実現するためには、市役所だけで考えるのではなく、町内会長又は自治会長の皆様の活動や思いを知ることが大切だと考えています。

多くの方に回答いただくことが、より良い取組につながります。

どうかご協力をお願いいたします。

令和5年11月 高知市

※ 本調査は第3期高知市地域福祉活動推進計画策定（高知市，高知市社会福祉協議会共同策定）の基礎資料とするために実施するものです。

調査票にご記入いただくうえでのご注意

- * それぞれの問いについて、あてはまる選択肢に○をつけてください。その他を選ばれた方は、具体的な内容を（ ）の中にお書きください。
- * お答えいただきました調査票は、**無記名のまま**返信用封筒に入れて、切手を貼らずに**12月28日(木)まで**に郵便ポストに投函してください。
- * **インターネットで回答いただくことも可能です**。詳しくは、次ページをご覧ください。

この調査のお問い合わせは以下へお願いします。

高知市健康福祉部 地域共生社会推進課

電話 088-821-6513

FAX 088-821-7230

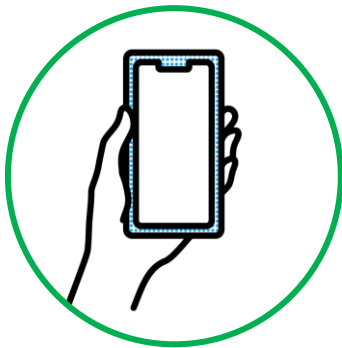
メール kc-111200@city.kochi.lg.jp



スマホで簡単！！

インターネットから回答できます！

地域福祉に関するアンケート調査は、インターネットでの回答が便利です。



スマートフォン・パソコン・タブレット端末で二次元コードを読み取るか、

URL にアクセスしてご回答ください。

https://apply.e-tumo.jp/city-kochi-kochi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=7953



インターネットでご回答いただいた場合、紙の調査票は提出せず、破棄していただきますようお願いいたします。

《デジタルが苦手な方へ》

この機会にチャレンジしてみませんか？

- お気軽に地域共生社会推進課(821-6513)までお問い合わせください。
丁寧にご説明します。
- 休日などにお子様やお孫様に手伝ってもらって回答するのもいいですね。
若者が「町内会・自治会活動」に興味を持つきっかけになるかもしれません。

地域福祉に関するアンケート調査票

問1 あなたの性別は。 (1つだけ○印)

- | |
|---------------------------------|
| 1) 男性 |
| 2) 女性 |
| 3) その他 (どちらともいえない・分からない・答えたくない) |

問2 あなたの年齢は。 (1つだけ○印)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1) 40歳未満 | 5) 65～69歳 |
| 2) 40歳代 | 6) 70～74歳 |
| 3) 50歳代 | 7) 75歳以上 |
| 4) 60～64歳 | |

問3 あなたは町内会長又は自治会長になってどれくらいになりますか。 (1つだけ○印)

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1) 1年未満 | 2) 1年以上5年未満 | 3) 5年以上 |
|---------|-------------|---------|

問4 あなたのお住まいの地区名は。 (1つだけ○印)

(地区名と住所の対応表を次ページに記載しています)

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1) 上街 | 10) 三里 | 19) 長浜 |
| 2) 高知街 | 11) 五台山 | 20) 御豊瀬 |
| 3) 南街 | 12) 高須 | 21) 浦戸 |
| 4) 北街 | 13) 布師田 | 22) 大津 |
| 5) 下知 | 14) 一宮 | 23) 介良 |
| 6) 江ノ口 | 15) 秦 | 24) 鏡 |
| 7) 小高坂 | 16) 初月 | 25) 土佐山 |
| 8) 旭街 | 17) 朝倉 | 26) 春野 |
| 9) 潮江 | 18) 鴨田 | |

問5 あなたのお住まいの町内会又は自治会の住民は、お互いに助け合いができていますか。 (1つだけ○印)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1) 大変そう思う | 4) そう思わない |
| 2) そう思う | 5) 分からない |
| 3) あまりそう思わない | |

<地区名・住所対応表>

1) 上 街	6) 江ノ口	8) 旭 街	12) 高 須	16) 初 月	22) 大 津
上町1～5丁目	寿町	塚ノ原	高須	みづき山	大津甲
本丁筋	中水道	西塚ノ原	葛島1～4丁目	17) 朝 倉	大津乙
水通町	幸町	長尾山町	高須新町1～4丁目	朝倉甲	23) 介 良
通町	伊勢崎町	旭天神町	高須砂地	朝倉乙	介良甲
2) 高知街	相模町	佐々木町	高須本町	朝倉丙	介良乙
唐人町	吉田町	北端町	高須新木	朝倉丁	介良丙
与力町	愛宕町1～4丁目	山手町	高須1～3丁目	朝倉戊	介良
鷹匠町1～2丁目	大川筋1～2丁目	横内	高須東町	朝倉己	潮見台1～3丁目
本町1～5丁目	駅前町	口細山	高須西町	宗安寺	24) 鏡
升形	相生町	尾立	高須絶海	行川	鏡大河内
帯屋町1～2丁目	江陽町	蓮台	高須大谷	針原	鏡小浜
追手筋1～2丁目	北本町1～4丁目	福井町	高須大島	上里	鏡大利
廿代町	新本町1～2丁目	福井扇町	13) 布師田	領家	鏡今井
永国寺町	昭和町	福井東町	布師田	唐岩	鏡草峰
丸ノ内1～2丁目	和泉町	9) 潮 江	14) 一 宮	曙町1～2丁目	鏡白岩
3) 南 街	塩田町	土居町	一宮	朝倉本町1～2丁目	鏡狩山
中の島	比島町1～4丁目	役知町	薊野	若草町	鏡吉原
九反田	栄田町1～3丁目	潮新町1～2丁目	重倉	若草南町	鏡の淵
菜園場町	7) 小高坂	仲田町	久礼野	鶴来榮	鏡去坂
農人町	井口町	北新田町	薊野西町1～3丁目	横山町	鏡竹奈路
城見町	平和町	新田町	薊野北町1～4丁目	針木東町	鏡敷ノ山
堺町	三ノ丸	南新田町	薊野東町	大谷公園町	鏡柿ノ又
南はりまや町1～2丁目	宮前町	梅ノ辻	薊野中町	朝倉南町	鏡横矢
弘化台	西町	棧橋通1～6丁目	薊野南町	朝倉横町	鏡増原
4) 北 街	大膳町	天神町	一宮西町1～4丁目	朝倉東町	鏡葛山
桜井町1～2丁目	山ノ端町	筆山町	一宮しなね1～2丁目	朝倉西町1～2丁目	鏡梅ノ木
はりまや町1～3丁目	桜馬場	塩屋崎町1～2丁目	一宮南町1～2丁目	針木北1～2丁目	鏡小山
5) 下 知	城北町	百石町1～4丁目	一宮中町1～3丁目	針木本町	25) 土佐山
宝永町	北八反町	南ノ丸町	一宮東町1～5丁目	針木南	土佐山菖蒲
弥生町	宝町	南竹島町	一宮徳谷	針木西	土佐山西川
丸池町	小津町	竹島町	15) 秦	18) 鴨 田	土佐山梶谷
小倉町	越前町1～2丁目	北竹島町	愛宕山	鴨部	土佐山
東雲町	新屋敷1～2丁目	北高見町	前里	神田	土佐山高川
日の出町	八反町1～2丁目	高見町	東秦泉寺	鴨部高町	土佐山桑尾
知寄町1～3丁目	8) 旭 街	六泉寺町	中秦泉寺	鴨部上町	土佐山都網
青柳町	東城山町	孕東町	三園町	鴨部1～3丁目	土佐山弘瀬
稻荷町	城山町	孕西町	西秦泉寺	19) 長 浜	土佐山東川
若松町	東石立町	深谷町	北秦泉寺	長浜	土佐山中切
高塚	石立町	南中山	宇津野	横浜	26) 春 野
杉井流	玉水町	北中山	三谷	瀬戸	春野町弘岡上
北金田	縄手町	幸崎	七ツ淵	瀬戸西町1～3丁目	春野町弘岡中
南金田	鏡川町	小石木町	加賀野井1～2丁目	瀬戸東町1～3丁目	春野町弘岡下
札場	下島町	大原町	愛宕山南町	長浜宮田	春野町西分
南御座	旭町1～3丁目	河ノ瀬町	秦南町1～2丁目	横浜新町1～5丁目	春野町芳原
北御座	赤石町	南河ノ瀬町	16) 初 月	横浜西町	春野町内ノ谷
南川添	中須賀町	菽町1～2丁目	東久万	横浜東町	春野町西諸木
北川添	旭駅前町	10) 三 里	中久万	瀬戸1～2丁目	春野町東諸木
北久保	元町	池	西久万	瀬戸南町1～2丁目	春野町秋山
南久保	南元町	仁井田	南久万	横浜南町	春野町甲殿
海老ノ丸	旭上町	種崎	万々	長浜蒔絵台1～2丁目	春野町仁ノ
中宝永町	水源町	十津1～6丁目	中万々	20) 御 豊 瀬	春野町西畑
南宝永町	本宮町	11) 五台山	南万々	御豊瀬	春野町森山
二葉町	上本宮町	吸江	柴巻	21) 浦 戸	春野町平和
6) 江ノ口	大谷	五台山	円行寺	浦戸	春野町南ヶ丘1～9丁目
入明町	岩ヶ淵	屋頭	一ツ橋町1～2丁目		
洞ヶ島町	鳥越		みづき1～3丁目		

問6 あなたは「生活の困りごと」に対し、住民が支え合い、助け合う関係が必要だと思いますか。(1つだけ○印)

「生活の困りごと」とは

電球の交換や庭の掃除、ごみ出しができないなどの暮らしの中でのちょっとした困りごとも含みます。

- | | |
|------------|--------------|
| 1) 必要だと思う | 3) 必要だとは思わない |
| 2) あった方が良い | 4) 分からない |

問7 あなたの考える「地域での望ましいつながりの程度」はどれくらいですか。(1つだけ○印)

- | |
|---------------------|
| 1) お互いに助け合える関係 |
| 2) 挨拶をする程度 |
| 3) 地域でのつながりは必要と感じない |

問8 あなたのお住まいの町内会又は自治会にどのような集いの場が特に必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○印)

- | |
|--------------------------|
| 1) 高齢者が集える場 |
| 2) 子育て世代が集える場 |
| 3) 障害のある人が集える場 |
| 4) 多世代交流のできる集いの場 |
| 5) 介護について相談できる集いの場 |
| 6) 食を通じた交流の場 |
| 7) 子ども食堂 |
| 8) 趣味活動など余暇を楽しめる集いの場 |
| 9) 生活のちょっとしたことを気軽に相談できる場 |
| 10) 地域の課題解決に向けた話し合いの場 |
| 11) その他 () |
| 12) 特に必要ない |

問9 あなたのお住まいの町内会又は自治会では、町内会又は自治会活動として、見守りや助け合い活動を実施していますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-----------------------------------|
| 1) 高齢者や障害者等支援を必要とする人への見守り訪問や声かけ |
| 2) ちょっとした困りごとに対する住民同士の助け合い活動 (有償) |
| 3) ちょっとした困りごとに対する住民同士の助け合い活動 (無償) |
| 4) 住民同士の交流を行うサロン活動 |
| 5) その他 () |
| 6) 実施していない |

問 10 高知市が設置している生活に関する相談窓口を知っていますか。
(知っているものすべてに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1) 地域包括支援センター | 6) 市民会館 |
| 2) 子育て世代包括支援センター | 7) 情報公開・市民相談センター |
| 3) 障害者相談センター | 8) 消費生活センター |
| 4) 生活支援相談センター | 9) ほおっちょけん相談窓口 |
| 5) 成年後見サポートセンター | 10) いずれも知らない |

問 11 地域福祉を推進し、住民主体の地域福祉活動のお手伝いをする「高知市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織を知っていますか。
(1つだけ○印)

- | |
|---------------------------|
| 1) 名前も活動の内容もよく知っている |
| 2) 名前は知っており、活動内容も少しは知っている |
| 3) 名前は知っているが、活動内容は知らない |
| 4) 名前も活動内容も知らない |

問 12 住民の生活の困りごとへの対応状況を教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1) 困りごとの相談を受けたことがない | ⇒問 14 へ |
| 2) 高齢者から相談を受けたことがある | } ⇒問 13 へ |
| 3) 子育て中の親から相談を受けたことがある | |
| 4) 子どもから直接相談を受けたことがある | |
| 5) 障害のある人から相談を受けたことがある | |
| 6) その他の方から相談を受けたことがある | |

問 13 問 12 で「相談を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。相談を受けた具体的な生活の困りごとの内容を教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1) 介護 | 11) 家族との関係 |
| 2) 障害 | 12) ご近所との関係 |
| 3) 子育て | 13) 社会参加 |
| 4) 経済的困窮 | 14) ひきこもり |
| 5) 病気や健康 | 15) 不登校 |
| 6) 家の中の掃除 | 16) ヤングケアラー |
| 7) 庭掃除 | 17) その他 () |
| 8) ごみの分類・ごみ出し | |
| 9) 電球交換 | |
| 10) 買い物 | |

問 14 住民の相談を受けて困った際に、頼る先はどこですか。
(あてはまるものすべてに○印)

- 1) 地区民生委員児童委員協議会
- 2) 町内会連合会
- 3) 生活保護等担当者 (福祉管理課, 第一福祉課, 第二福祉課)
- 4) 地域包括支援センター
- 5) 子育て世代包括支援センター
- 6) 障害者相談センター
- 7) 生活支援相談センター (社会福祉協議会委託)
- 8) 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会委託)
- 9) ない
- 10) 困ったことはない
- 11) その他 ()

問 15 高知市及び高知市社会福祉協議会の地域福祉の取組の評価についてお聞きします。(1つだけ○印)

高知市地域福祉活動推進計画では、「地域共生社会の実現」を掲げ、「だれもが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまち」を基本理念に、様々な取組を進めてきました。

例:「地域福祉コーディネーター」の配置(平成25年度~)や、「ほおっちょけん相談窓口」の設置(令和4年度全市展開)、「ほおっちょけん学習」の実施、「生活支援ボランティア」の養成等

- 1) 評価する
 - 2) 評価しない
 - 3) 分からない
- ⇒上記1)～3)を選択した理由をお書きください。
【理由: _____】

問 16 地域福祉のあり方などについて、自由に意見をお書きください。



ご協力ありがとうございました。